

第6回「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業 基本方針・基本計画」説明会

日時：令和2年7月17日(金) 14時～16時

場所：交野市役所 別館3階 中会議室

意見等の概要	意見等に対する考え方・対応
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を考え一時ストップしてほしい。オリンピックも庁舎も計画はストップしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰しものが想像できなかったコロナの状況も含めて避難所など危機管理も考え、学校施設を今後どうするのかを計画に反映させていきたい。交野市には50年以上の年月が経った学校もあることから、老朽化も含めて対応が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知が足りていない。市民や子ども達が納得してから進めてほしい。跡地利用のことも説明し、パブリックコメントを実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校など就学中のご家庭に対しては周知をしていたが、現在未就学児を抱えているご家庭までは十分に周知が行き渡らなかったため、こども園課と連携を深め、今後の周知に努めていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がたくさん集まるときにこうした説明会を実施してもらえないか。通学している交野・長宝寺・第一中学校の保護者があつまるときに説明会を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会実施の周知が遅くなってしまい申し訳なく思っている。今後、集まっていただく機会など、要望いただければ説明に伺う。
<ul style="list-style-type: none"> ・長宝寺小に3年間通う間の放課後児童の時間は今まで通り18時半までになるのか。距離が延びることでお迎えが間に合わない、仕事の体制を変えないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の時間については、近隣市町村の動向なども視野に入れ、担当部署と連携してしっかりと対応していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・通学距離の問題については、他の小学校への通学枠が何名あるかなど具体的な方策を出してもらえたら、保護者も安心するのではないか。 ・他の学校に通学することを認めてほしい。中には新校ができてそこに通学しなくてもいいという声もある。そういう声を直接聞いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学距離が遠くなる場合、全ての児童生徒に対しては難しいが、一定の配慮が必要と思っている。今年度中には条件設定を行い、来年度には措置を講じていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画をすすめる上で交野小学校の敷地に一貫校を建設する計画と類似の小中学校を見学したことはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学についてはいくつか実施しているが、今回の計画に類似しているのが宇治黄檗学園の小中一貫校であった。そこは交野小学校の敷地より少し狭く、小中学校の生徒も1,000人を超える規模の学校であった。人数については運動会などの行事や避難所運営のことも考えなければいけないが、先行事例での良い部分を取り入れ実施していきたい。

<p>・交野市のまなびの3本の柱にある「新しい学びを中核に据えた義務教育の質を変える」という考え方が今なぜ必要なのか。</p>	<p>・まなびの3本柱については、小学校1年生の時から義務教育の修了時までを考えて、義務教育の質を変えるという意味がある。6年と3年で切り離されていた環境から、小学1年生のときから中学校教育に親しみをもってもらうための教育という考えである。</p>
<p>・プールがないと聞いているが、往復時間など具体的な対応を教えてほしい。</p>	<p>・今回の計画ではプールは設置せず、いきいきランドのプールで授業を行う計画となっている。往復時間については授業時間を2時間枠とするなどの検討をした上で、通うことが可能だと判断している。歩道の整備についても検討している。</p>
<p>・学校のプランに無理はないのか。小学生と中学生が同じフロアで問題ないのか。グラウンドに向かって配置してある教室の生徒は、グラウンドを眺めてしまうのではないのか。</p>	<p>・教室の配置については、地域協議会・教職員協議会の中で話し合っ決定していくことになる。中廊下型の教室配置となっても、今の廊下幅より広い幅となる。それに加えて、色々な活動ができるよう広いスペースを確保していく。</p>
<p>・交野小学校なら10分で通学させられるのに、長宝寺小学校では40分もかかるのかと感じている。なぜスクールバスを出さないと決めてしまったのか。</p>	<p>・スクールバスについては昨年度、地域協議会の中で検討した結果、交野市内の他の小学校の通学距離と比較して、著しく長いとは言えないことなどから、導入はしないとの結論となった。なお、通学の安全については「開校準備員会」で安全対策を考えていくことになる。</p>
<p>・プールの件で、2時間の授業時間で往復することになる上、人数の多い学校では小規模校に比べるとプールに入って泳げる時間が少なくなると思う。</p>	<p>・ご意見として承ったことを、記録に残します。</p>
<p>・教室の配置は南側が良い。学校は50年、60年と続いていくので豊かな環境を保障し、安心安全な学校をつくっていかねばいけない。</p> <p>・小中一貫校は61億円相当を費用として計上している。交野・長宝寺・第一中学校のどの学校についても長寿命化計画で試算をすると、30億円余りの費用で済む。一貫校をやめて長寿命化し、小中分離で運営を続けてはどうか。</p>	<p>・教室の配置は必ずしも南向きが良いとは限らない。長寿命化改修によって維持できるのは30年程度であり、これだけ傷んでいる施設を実際に改修するとなると、概算費用よりも費用が膨らむ可能性も大いにあり得る。施設の老朽化と、これからの学校教育について考え、小中一貫校の新校計画に舵を切ったということになる。</p>

<p>・1,100人の児童生徒を集めて教育をするという提案では、運動場も最低限になってしまう。どうして小中一貫教育にこだわるのか。</p>	<p>・平成31年2月に策定された「交野市学校規模適正化基本計画」の中で、交野小学校・長宝寺小学校・第一中学校を統合することとした。そこに至るまでも教育委員会・学校教育審議会だけでなく、様々な機会で見解を聞き議論してきた。施設一体型小中一貫校にこだわるということではなく、そうした流れで今に至っている。</p>
<p>・今日もらった概要版に記載してある3つの柱というのは全国的に文科省から言われている課題であり、別に特別なことではない。どこの自治体にもっていても通用することだと思える。</p>	<p>・ご意見として承ったことを、記録に残します。</p>
<p>・交野小学校と長宝寺小学校との統合よりも、第一中学校もあわせた小中一貫校にしたほうが良いとなる根拠を教えてください。</p>	<p>・小中一貫教育を行う上では施設一体型小中一貫校とする方が望ましいという意見を、学校規模適正化計画を策定する前の段階で議論した。学校教育審議会の中では、一覧表を作成の上、議論の対象比較等を点数化し検討いただいた。また、一中校区の地域の方々や保護者の方々、PTAの方々にも議論いただいた。そうした経緯を経て、小中一貫校の計画とした。</p> <p>・分離型の可能性も検討した。ただ現状では交野小学校と長宝寺小学校の児童は第一中学校に進学しており、中学校のクラス数は3クラスとなっている。中学校としては最低のラインで、部活動にも支障が出ている。また、中一問題の段差を減らす効果が高いのが小中一貫校であるという結果もある。</p>
<p>・今回の基本方針・基本計画ではパブリックコメントを行っていない。もう一度、案の段階に戻してパブリックコメントを行うことを要望する。</p>	<p>・パブリックコメントについては、規則にのって判断している。「交野市学校規模適正化基本計画」や「交野市学校施設等管理計画」が規則に該当するということでパブリックコメントを実施した。この「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業 基本方針・基本計画」についても、今回の説明会で伺ったご意見を参考に基本設計に活かしていきたい。</p>
<p>・この基本方針・基本計画は非常に大事なのでパブリックコメントはしないとイケない。だから市のほうも説明会を10回も設定した。行政は市民の意見を聞いて、それを市政に反映させてほしい。</p>	<p>・ご意見として承ったことを、記録に残します。</p>
<p>・一中校区だけの話ではなく、交野市全体で進めることであればパブリックコメントはやるべき。</p>	<p>・ご意見として承ったことを、記録に残します。</p>

<p>・全市民に話を聞いてもらって問うべきだ。そういうことを考えたら一番最初に戻らないといけないのではないか。平成31年2月の「交野市学校規模適正化基本計画」の時点に戻って、もう一度パブリックコメントをしてほしい。</p>	<p>・ご意見として承ったことを、記録に残します。</p>
<p>・小中一貫校を作る理由の一つに、中一ギャップがあると言われたが、私が小六の担任をしていた経験上、中学生の教員と連絡を取り合い、中一ギャップを感じたことはなかった。逆に五、六年生の生き生きさがなくなり、大きな成長が見られなかったという報告がされている。</p>	<p>・小中一貫校では、いわゆる中一問題が解消するが、新たに小六問題が顕在化するとある。良い所もあれば悪い所もある。ただ、小六問題は指導で子ども達の意欲を高めることはできているが、中一問題は体制や学校の仕組みといった指導だけでは難しいところがある。本市に合った小中一貫教育、小中一貫校を作りたい。</p>
<p>・小中分離にすると3学級になると言われたが、コロナ後で30人学級となると学級数が増える。無理をして狭い敷地に密の校舎配置にするのではなく、小中の子ども達がゆったりと豊かに成長できるようにしてほしい。</p>	<p>・ご意見として承ったことを、記録に残します。</p>
<p>・今回の基本方針・基本計画での小中一貫校を実施することで、何か教育環境が良くなるのか。</p>	<p>・小中一貫教育を一番効果的にする施設として、施設一体型一貫校を考えた。施設の課題はあるが、小中一貫教育をする中で、同じ校舎に一年生から九年生がいるというメリットがある。中一問題の解消を含め、より効果的に対策できるという面で、施設一体型一貫校はメリットがあると思っている。</p>